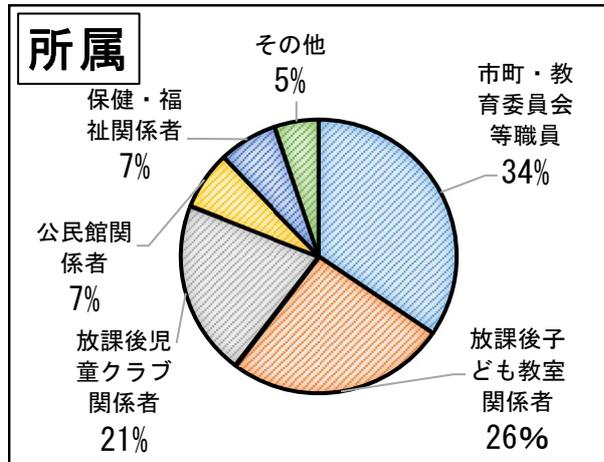


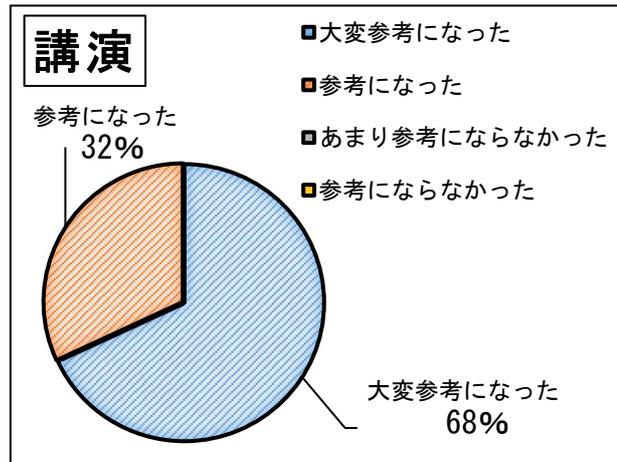
令和7年度「放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会」アンケート結果

(回答者 47 人)

○ 参加者について



○ 講演について

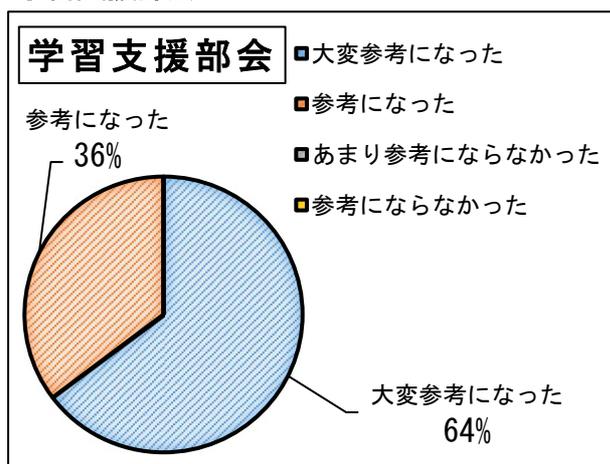


【参加者の感想】

- 愛着形成についての知識がなく、大変勉強になりました。子どもへの対応など具体的なお話が聞けて良かったです。地域コーディネーターと共有して、ふだんの教室運営に役立てたいです。
- 愛着障がいという言葉を知りました。発達障がいと似ていますが、子どもへの対処法が違うことが勉強になりました。
- 放課後児童クラブがホッとできる場所、この先生がいると安心すると思われる場所を目指して、日々努力していきたいです。
- たくさん子どもたちと関わる中で、問題行動をする子どもの対応に困る時も多くありましたが、その子どもの特性を少し理解することができ、大変参考になりました。保護者の問題と子の問題を分けて、丁寧に対応していかないといけないと強く感じました。
- 三好先生の口調がとても優しく聞きやすかったです。「ホッとできる場所」「ホッとできる人がいる」「安心できる場所がある」ような放課後子ども教室にしたいです。
- 子どもと関わる中で、「愛着障がい」を抱えているのかなと思うことがたくさんありました。気になる子どもの行動や言動について、家庭での親子関係はうまくいってないのかと何となく想像していましたが、今回のお話で納得できました。
- 愛着形成不全は大人になってからも改善できることや、子どもやその周囲の大人への支援の方法など、気になる点が提示されていてとても分かりやすかったです。



○ 学習支援部会について

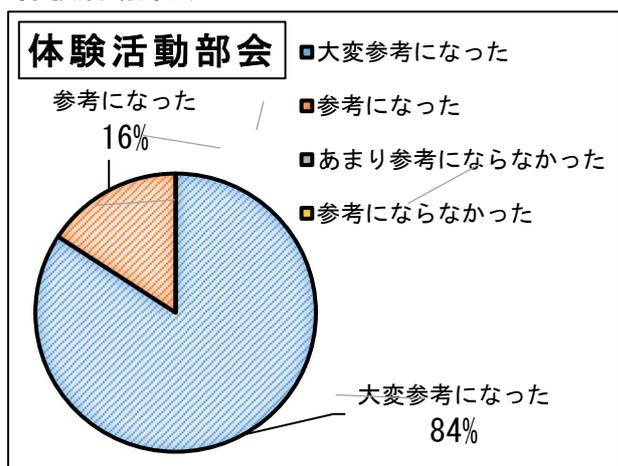


【参加者の感想】

- 日々子どもへの支援で、良くない言動にばかり目が向いてしまっていたことに気付くことができました。子どものがんばりや良い言動をキャッチして、褒めるところを探して言葉で伝えていきたいです。また、グループワークで話したことで、他の参加者と共感できて良かったです。
- 子どもの困った行動の背景には、困り感がある。それをどう解決するか、折り合いをつけるかが大事だと思いました。一人一人の気持ちに寄り添いながら、お互いが機嫌よく楽しく過ごすことのできる場にしたいです。
- 上手に褒めることで、子どものモチベーションを上げることができると分かりました。さらに子どもとの関わり方を学びたいです。
- 自分自身に余裕がなくなり、子どもたちの悪いところに注目してしまっていたように思います。どんなときも笑顔でがんばろうと思いました。
- 子どもに注意したり、叱ったりすることが多くなり、“褒める”ことが少ない日常です。当たり前のことでも「やってるね」、「すごいね」という言葉だけでなく、ニコッとほほえんだり、うなずいたり、ジェスチャーしたりして子どもに伝えたいと思いました。
- 子どもに話すときは笑顔や口調が大切だなあと感じました。とても参考になりました。
- 参加型の部会だったので、参加者と意見交換をしながら楽しく学習することができました。また、ワークを通してふだんの取組に自信が持てました。



○ 体験活動部会について



【参加者の感想】

- 実際に子どもと一緒にできそうな内容でした。夏休みにやってみたいと思います。
- 今回は、「する」側の体験をさせていただき、貴重な体験となりました。いろいろな工作のアイデアを紹介していただき、教室で子どもたちと制作するのが楽しみです。
- 子どもが放課後児童クラブでプラバンをよく作って持って帰ってきており、どのようにして作るのか不思議に思っていました。今回自分で作ってみておもしろいなと思いました。プラバンの裏に着色することを知り、今後の制作に生かせそうです。
- 自由な発想でそれぞれの作品を作っている様子が良かったです。子どもたちとぜひ共有し、一緒に作りたかったです。
- 自分で作る楽しさがとても分かりました。特に、昆虫のプラバンは良かったので、教室で参考にします。
- ハンガーを自由自在にアレンジし、皆が楽しめる作品を作ることができて、大変満足している。モールの使い方など、実際に体験しないと分からないことがあり、大変勉強になりました。
- 子どもたちに身近にある物を使って自由に制作をする場を提供したいと思いました。工作が好きなので、もっと自由な発想が自分にできたらいいと感じました。
- ワークが中心で楽しく参加することができました。上田先生の配信している動画を参考にしながら子どもたちと一緒に工作に挑戦してみたいです。

